

PIC2 access tools
Release 6
for
X680x0/Win32 console
Copyright(C) 1993-2006 Noboru Abe

Apr. 2 2006

1. はじめに

P2DEC/P2ENCは、PIC2フォーマットを扱うために作成されたFile To Fileタイプのデコーダ・エンコーダです。

P2DEC/P2ENCは、PIC2フォーマットの仕様から画像作成・鑑賞に必要なと思われる機能を利用できるように設計されています。

また、入出力をRGBファイルに限定しているため、Win32 console版ではWindows95以上^{*1}のWindowsが稼働する機種^{*2}であれば問題なく動作します。

2. P2DEC/P2ENCの特徴

(1) P2DEC v2.08 の特徴

- i) 現時点で規定されている8/15/24 bitのPIC2画像をRGBファイルへ展開できます。
- ii) 複数画像ブロックが含まれるPIC2ファイルでも正常に展開することが可能です。
- iii) PIC2ファイル内に埋め込まれている情報を表示する事が可能です。
- iv) DJPプラグインファイルの出力をサポートしています。
- v) イメージプロポーションアルファイル形式を指定できます。

(2) P2ENC v2.09 の特徴

- i) コマンドシェルにcmd.exeを利用していた場合の不具合を修正しました。 全然気がつかなくて申し訳ないです・・・はう^^;
- ii) RGB/DJPファイルから、現時点で規定されている8/15/24 bit PIC2フォーマットの総ての圧縮形式を生成することが出来ます。
- iii) 入力ファイルの拡張子が省略された場合、自動補完を行います。
- iv) イメージプロポーションアルファイル形式の自動判定機能を内蔵しています。
- v) 256色TIFFファイルから8 bit PIC2ファイルを生成する事が可能です。
- vi) 3種類の生成ファイルへの画像タイトル埋め込み方式を提供しています。
- vii) 作品番号自動付番機能を搭載しています。
- viii) コマンドラインからの作成者名指定を可能にしました。

— note —

*1 流石にもうノーマルMS-DOS向けのプログラムを作る気はありません（笑）

*2 英語版でも動作するとは思いますが、HELPメッセージ等でカタカナ文字を利用しているためメッセージが読みにくくなります^^;

3. オプション一覧

3.1 P2DECオプション

```
usage : P2DEC {-opt} filename[.P2] {outfile[.RGB]} {-opt}
opt > -l          PIC2ヘッダ 詳細表示指示
      -P[n]       イメージプロポーショナルファイル指定
                   n: 0 FAL形式
                   1 IPR形式
```

3.2 P2ENCオプション

```
usage : P2ENC {-opt} filename[.RGB|.00] {outfile[.P2]} {-opt}
opt > -m[n]       カラー選択
                   n : 0 15bit color(デフォルト)
                   1 24bit color
                   2 8bit color
      -2          2 pass 高圧縮モード
      -astr       作者名指定
                   str:18字以内の文字列
      -b          非圧縮モード
      -c{filename[.DOC]} コメントファイル指定
      -nseq       作品番号指定
      -nh         作品番号を更新しない
      -ti         タイトル入力指示
      -tn         コメントファイルの先頭行をタイトルにしない
      -tl         タイトルリスト表示のみ行う
      -s          PIC2セーブ 指示(全画面のみ) <- DOS版では表示
                   されません。
      -95        Plugin呼び出しをWin95/DOS互換形式で行う
```

4. 使い方

4.1 利用の前に

P2DECでは内部でlocal timeを利用して時間の地域補正を行っているため、環境変数'TZ'が正しく設定されていない場合は、PIC2ファイル内に記録されている作成時間が実際の時間とずれてしまう恐れがあります。

環境変数の設定を確認して、'TZ'が設定されていない場合は次のようにautoexec.batに記述しておいて下さい。

```
SET TZ=JST-9
```

4.2 P2DECの使い方

4.2.1 通常の使い方

変換したいPIC2ファイルを用意して次のように入力してください。なお、入力ファイルの拡張子が省略された場合、'.P2'が補われます。

```
p2dec PIC2ファイル名[.P2] 出力ファイル名
```

展開が正常に終了すると、FAL形式のイメージプロポーショナルファイルが出力ファイルと同一のドライブ・ディレクト

りに作成されます。

展開を途中で中止したい場合はESCキーを押して下さい。

なお、出力ファイル名に指定する内容によって、生成されるカラーファイル名が変化します。

1) 出力ファイル名が指定されなかった場合

カレントディレクトリに入力ファイルの拡張子を'.RGB'に変更したファイルが作成されます。

```
p2dec p2
```

と指定した場合生成されるファイルは'p2.rgb'という名前になります。

2) 出力ファイル名の拡張子が指定されなかった場合

指定された出力ファイル名に'.RGB'が補われます。出力ファイルの拡張子を'.Q0'にしたい場合は必ず出力ファイル名を拡張子まで指定するようにしてください。

```
p2dec p2 p2.q0
```

3) 入力ファイルが複数の画像ブロックで構成されていた場合

一番最初に展開される画像ブロックは、1) 2)で説明したファイル名として出力されますが、次の画像ブロックからは以下の命名規則で生成されたテンポラリファイルに出力されます。

[出力先ファイル名]+'.P2DEC'+3桁の画像ブロック番号+[.出力ファイル拡張子]

展開終了後に、必要に応じてテンポラリファイル名をリネームして御利用下さい。

```
p2dec p2p_test f:p2p_test.q0
```

例えば上のように指定した場合、最初の画像ブロックは'f:p2p_test.q0'として出力されますが、次の画像ブロックは'f:2DEC001.Q0'というファイル名で出力されます。

4.2.2 DJPプラグインとしての使い方

P2DECはDJPプラグインファイルの出力機能を内蔵しているので、DJPプラグイン呼び出し機能を持つソフトウェアから直接利用する事が可能です。

呼び出し書式は他のDJPプラグインモジュールと同様です。例えば戦うクラリスさん作のPHANTOMからP2DECを呼び出す場合は、次のようにPHANTOM.CFGを記述します。

```
p2 p2dec.exe DJ505JC %in %out
```

また、モノクロイメージでの出力も可能です。モノクロイメージが必要な場合はDJ505JCをDJ505JMに置き換えて指定してください。

なお、複数画像ブロックで構成されたPIC2ファイルは最初の1ブロックのみ展開します。

4.3 P2ENCの使い方

4.3.1 RGBファイルからのエンコード

PIC2に変換したいRGBファイル^{*3}を用意して、作成する色数と出力するファイル名を指定して起動して下さい。

```
p2enc -m<bit>-選択値 入力ファイル[.RGB|.Q0] 出力ファイル[.P2]
```

入力ファイルの拡張子は'.RGB'-'>'.Q0'の順に、指定されたディレクトリの内容を判定して自動補完を行うので、特に指定する必要はありません。^{*4}

P2DECと同様に、出力ファイルの指定方法によって作成されるファイル名が異なります。

1) 出力ファイル名が省略された場合

カレントディレクトリに入力ファイルの拡張子を'.P2'に変更したファイルを作成します。

```
p2enc testing <- testing.rgb/testing.q0のうち存在するファイル
を15bit PIC2でtesting.P2に出力する

p2enc -m1 ball.rgb <- ball.rgbを24bit PIC2でball.p2に出力する
```

2) 出力ファイルの拡張子が省略された場合

指定されたファイル名に'.P2'を補って出力します。

```
p2enc ¥test.q0 f:image <- ¥test.q0からf:image.p2を15bit PIC2で
作成する
```

間違ったオプションでエンコードを指示してしまった場合や、エンコードを途中で中断したい場合は、[ESC]キーを押すと実行を中断できます。

4.3.2 減色を伴うエンコード

P2ENCには減色機能は搭載されていないため、8 bit PIC2ファイルを作成するためには、何らかの減色ツールを用いてDJPファイルへ変換しなければ利用できません。MS-DOS上では後述する減色ツールを利用して、予めRGBファイルから減色済のファイルを作成した後、P2ENCを使ってエンコード作業を行うこととなります。

実際の作業手順を示します。ここではCR256を使って256色のTIFFファイルを作成する物とします。

```
cr256 sample.rgb
p2enc sample.tif <- 拡張子を必ず指定すること
```

X680x0版を利用されている方は申し訳ありませんが、何とかして256色に減色したTIFFファイルを作成してください(笑)

— note —

*3 P2DEC/P2ENCで扱うRGBファイルは24 bit RGBの事です。PC-9801用のグラフィックツールで出力される16色パレットファイルではないのでご注意ください。

*4 一応RGBパレットファイルのチェック機能を内蔵しているので、誤動作することはあまりないと思いますが、自動判別が効かない場合は入力ファイルの拡張子まで指定してエンコードを行って下さい。

4.3.3 関連ツールの所在地

DJPプラグインと併用して利用できるのはTIFF/GIF/BMPの3フォーマット^{*5}ですが、X680x0版では作者の都合^{*6}でTIFFしか利用できないようになっています。(笑)P2ENCから利用できるプラグインモジュールには以下のものがあります。

P2ENCから利用できるDJPプラグイン(DOS用)

[FGALAV/LIB 7]

740 PAG02643 95/02/22 7747 B BMPPLG03.LZH DJPプラグイン for BMP Ver.0.3
708 KFB02167 94/10/28 8202 B GIFP020 .LZH GIFP020 GIF Plug-in ver0.20

MS-DOS版では以下のツールが減色ツールとして利用できます。それぞれのツールで特性が異なるので、利用される方がご自分で満足のいく画質になるようにテストしてからP2ENCでエンコードすると良いでしょう。

減色ツール

[FGALAV/LIB 7]

563 QGA00236 93/09/26 21242 B CR256001.LZH カラー 256色減色プログラム0.01
82 QGA00236 91/01/19 10574 B QOTIF32K.LZH 32K色TOWNS-TIFFファイル生成
47 QGA00236 90/10/11 16927 B QOTIF256.LZH 256色TIFFファイル生成(Ver 1.23)

[FPICST/LIB 2]

266 GAA01001 92/06/28 57130 B GIF16V21.LZH 減色GIF作成ソフト(DOS汎用v2.1)

ここに紹介したツールの登録番号は1995/03/14現在のものです。バージョンアップ等で登録番号が変わる事もありますので注意してください。^{*7}

— note —

*5 手抜きでコンフィグファイルを提供していないため他のプラグインは利用できません^^;

*6 GIF_PLUG.X作るの面倒だし、X680x0な人は素直に15/24bit PIC2を使いましょう(笑)

*7 見つからない場合はフォーラムとLIB番号をたよりにまず自分で探して見てください。質問するのはそれからね^^;

再リリースに合わせて、変更された関連ツールのフォローもしようかと思いましたが、面倒なのとどーせ新しいの落す人は前のツールも持ってるだろうから省略(笑)

そのまえにFGALAV(というよりnifty-ttyそのもの)終わっちゃたのでこのあたりのツールの入手どうしたもんでしょ(爆笑)

5. オプション補足

5.1 P2DECオプション

5.1.1 PIC2情報表示オプション … -l

デコードを行わずに、PIC2ヘッダに格納されている情報を総て表示します。PIC2ファイル内に格納されているコメント文のみ確認したい場合に利用すると良いでしょう。

```
p2dec -i sample <- sample.p2内に記録されている情報を表示する
```

なお、16行以上の長文コメントが埋め込まれていた場合、16行毎にキー入力待ちを行います。表示されている文章を確認した後適当なキーを入力することで続きのコメントを表示させることができます。

5.1.2 イメージプロポーションアルファイル指定 … -P

出力するRGBファイルの画素情報を記述するテキストファイル^{*8}の形式を指定します。

```
P2DEC -pn PIC2ファイル名[.p2]
```

nに指定できる数字と出力ファイル形式の対応は次のようになります。

オプション	出力ファイル形式
0	FAL形式で出力します
1	IPR形式で出力します

オプションが指定されなかった場合は、常にFALファイル出力が選択されたものと見なします。市販のフルカラーエディタ等でレタッチ作業を行うような場合は、-p1でIPRファイルを出力すると良いでしょう。

— note —

*8 これをイメージプロポーションアルファイルと呼びます。

5.2 P2ENCオプション

5.2.1 カラー選択オプション … -M

PIC2ファイルの種類を選択するオプションです。 エンコードする時'-m'の後に数字を続けて指定することで、8/15/24 bitの切り替えを行うことが可能になります。

```
p2enc -m1 image.rgb <- 24 bit PIC2ファイルを生成する
```

指定値と生成されるPIC2ファイルの関係を示します。

-m指定値	生成形式	備考
0	15 bit	ビット切り捨てによる単純減色を行って15 bit PIC2ファイルを作成します。このモードがP2ENCのデフォルト動作です。
1	24 bit	24 bit PIC2ファイルを作成します。
2	8 bit	8 bit PIC2ファイルを作成します。入力ファイルがType 0/8以外のDJPファイルでなければ設定値は無効になります。

5.2.2 2 Pass高圧縮モード指示オプション … -2

入力ファイルを2度読みして圧縮率を高めるモードを指定するオプションです。このオプションを利用した場合、ファイルサイズは節約出来ますが、ファイルの圧縮・展開を完了するまでの時間は展開するデコーダ・エンコーダの性能によるところが多いので、ファイルを作成する目的に合わせて選択してください。

```
p2enc -2 umi <- umi.p2を高圧縮モードで作成する
```

パソコン通信での画像受け渡しに使う目的でしたら、多少余分な時間が係ることになってもこのモードを利用した方が通信費用の節約になります。逆に作業途中のファイルを一時的に保存しておくというのであれば高速モードを利用した方が良いでしょう。

5.2.3 非圧縮モード指示オプション … -A

PIC2には、ヘッダ内部に作者名を埋め込むブロックが用意されています。このオプションを利用すると、指定された文字列をPIC2ファイル中に作者名として記録しておくことができます。

'-A'の後に埋め込む文字列を指定してください。最大18文字まで指定可能です。

```
P2ENC -AN.Abe Park01 <- N.Abeという作者名を記録する
```

作者名指定が省略された場合は、環境変数を検索してユーザー名を取得します。

埋め込み文字列に空白を含みたい場合は、予め'PIC_USER'環境変数に埋め込む文字列を記録しておいてください。^{*9}

— note —

*9 コマンドラインからは空白を含む文字列は入力できません。

5.2.4 非圧縮モード指示オプション … -B

圧縮を一切行わずにPIC2ファイルをする事を指示するオプションです。 とりあえずファイルに記録しておく場合などに利用すると便利です。

```
p2enc -b -m1 work.rgb work.p2 <- work.p2を24bit非圧縮モードで作成する
```

5.2.5 コメントファイル埋め込み指定オプション … -C

PIC2ファイルの中に、 予め用意したコメントファイルに記述されている文字列を作品タイトルとコメント文として埋め込むことを可能にするオプションです。

PIC2ファイルを作成する際に'-c'オプションに続けて埋め込む内容を記述したファイルを指定してください。 コメントファイルの拡張子が省略された場合は'.DOC'が指定されたものとして扱います。

```
p2enc -chosoku asa <- asa.p2というファイルを作成してhosoku.docの
        内容をコメントとして埋め込む
```

入力ファイルと同じ名前で拡張子を'.DOC'に変えたファイルをコメントファイルとして作成してしておくこととコメントファイル名の指定を省略することが出来ます。

```
p2enc -c asa <- asa.p2というファイルを作成してasa.docの内容を埋め込む
```

コメントファイルでは最初の一行が作品タイトルとして複写されること^{*10}に注意して記述すれば、後は自由に書いて下さって構いません。記述例を示します。

```
24bit PIC2テスト画像          ..----> 作品タイトルへ複写さ
圧縮・伸長の時間と画質のパフォーマンスを考 |   れます
えて作成するフォーマットを選択しましょう^^; |
|
流行だからとか、新しいものだからとかいって |---- コメント領域に格納さ
飛び付く前に、作成した画像の内容を考えてみ |   れます
て、絵に合った最適なフォーマットを自分で選 |
んでくださいね^^; |
|
(この文章には深い意味無いです^^;)          ..
```

5.2.6 作品番号指定オプション … -N

従来のフォーマットでは'SMP001.P2'等というようにファイル名で作品番号を管理したり、コメント文中に作品番号をあわせて記述するということが一般的でしたが、 PIC2ファイルの場合はヘッダ内に作品番号を記録しておくことが可能になっています。

作品番号を埋め込むときは、'-n'の後ろに番号を続けて指定して下さい。

```
p2enc himawari -n3 <- himawari.p2を作品番号3番として作成する
```

一度設定されると、次回以降のPIC2ファイル生成時に自動的に付番されるようになります。 現在までに作成したPIC2ファイルの数を把握している方は、一度このオプションを利用して作品番号をP2ENCに登録しておくくと便利です。

— note —————

*10 -tn/tiオプションが指定されている場合はそちらが優先されます。

5.2.7 作品番号固定オプション … -NH

作品番号の自動更新を行わないようにするためのオプションです。試験的にエンコードを行う場合など^{*11}に指定すると便利です。

このオプションが明示的に指定されない場合、常に作品番号が更新されるため頻繁にテストエンコードを繰り返すような人は注意しましょう(笑)

5.2.8 画像タイトル入力指示オプション … -TI

コメントファイルの先頭行を利用せずにキーボードから画像タイトルを入力するためのオプションです。コメントを利用せずにタイトルだけ埋め込みたい時、コメントファイルを全て使い切りたい時などに利用すると便利です。

```
p2enc -ti bakesmpl.tif -m2
PIC2 Encoder for MS-DOS v2.07 Copyright(C) 1993-2001 Noboru Abe
Input Your graphics title.(return only is title skip)
256色PIC2ファイルサンプル <- キーボードから入力
```

なお、タイトルを省略したい場合はRETURNキーのみ入力してください。

5.2.9 画像タイトル埋込み抑制オプション … -TN

コメントファイルの先頭行を無視して、画像タイトルを埋め込まないようにするためのオプションです。コメントファイルの先頭に区切り文字を入れる癖のある人(笑)が利用すると便利です。

```
p2enc -tn -c bakesmpl.tif -m2
```

5.2.10 画像タイトルリスト表示オプション … -TL

現在までに作成したPIC2ファイルの一覧表を表示するオプションです。この表示内容を適当なファイルにリダイレクトする事で、容易に作品リストを作成する事ができます。

このオプションを指定した場合は、エンコード動作は行いません。実行例を示します。

```
p2enc -tl
PIC2 Encoder for MS-DOS v2.08 Copyright(C) 1993-2003 Noboru Abe
<<PIC2-Graphics data list>>
```

```
+-----+-----+-----+-----+
| No. | FileName | Bit/Mode | Title |
+-----+-----+-----+-----+
| 1 | TENK001R.P2 | ----- | unknown |
| 2 | TENK001R.P2 | ----- | unknown |
| 3 | KAMI_2.2 | ----- | unknown |
| 4 | rwp01.P2 | 24/P2SS | unknown |
+-----+-----+-----+-----+
```

表示される一覧表の各欄については説明する必要がないと思うので省略^{*12}します(笑)

— note —

*11 JPEGとPIC2での画像サイズ比較とか^^;

*12 Bit/Mode欄に-----文字が出力される場合は256対応版P2ENCのテストリリース時に作成されたファイルを表します。(つかってた人がどれくらいいるかは知りませんが^^;)

5.2.11 セーブ指示オプション … -S

X680x0版にのみ実装されている機能です。DOS版では利用できません。

このオプションは'ASPECT'設定値を有効にして、全画面セーブを行うためだけに作成されたものです。現在のPIC2.Xでは'ASPECT'を認識するように改良されているので、無用のオプション^{*13}かも知れません^^;

画面にPIC2セーブしたい画像を表示した後、出力するファイル名を指定してP2ENCを起動してください。

```
p2enc -s test <- 画面に表示されている画像を直接test.p2に出力します
```

このオプションが指定された場合、15bit PIC2のみ生成することが出来ます。'-m1'を併用して24bit PIC2画像を生成することは出来ないの注意してください。

5.2.12 Plugin呼び出し方式変更オプション … -95

OSがバージョンアップしたと共にDOS窓(コマンドラインコンソール)の仕様も変わってしまったらしく、昔のままの呼び出し方式では正常にプラグインを起動することができなくなってしまったようなので、内部的にですがプラグインの呼び出し方法をWin2k/XP向けに修正しました。

このオプションは、Windows95環境でプラグインを利用してPIC2ファイルを作成する方向けに作成したものです。Windows95上でPIC2ファイルを作成する方は以下のようにしてください。

```
p2enc -tn -c bakesmpl.tif -m2 -95
```

6. PIC2ファイル作成に関する補足情報

だいたいの使い方は一通り説明しました。ここではいままでの節で記述しきれなかった情報について少し補足します。

6.1 作成者名

PIC2ファイルには画像作成者名を格納するエリアが用意されています。作成者名称はよほどのことがない限り変動することがないでしょうから、パソコンを立ち上げた時に自動的に設定されるようにautoexec.bat等のスタートアップスクリプトで環境変数に定義しておくとう便利です。

P2ENCでは次のように作成者名を検索してPIC2ファイルの予約領域に格納します。

1	'-a' オプションで指定された文字列
2	'PIC_USER'で設定された文字列
3	'USER'で設定された文字列
4	'(作者不明)'という文字列

作者名として認識される文字列は30文字までです。それ以上長い文字が設定されていた場合は、31文字目以降は無視さ
 — note —

*13 P2DEC/P2ENCはデコーダ/エンコーダのサンプルも兼ねているのでソースも別アーカイブで配布しています。そのためだけに現在も直接セーブを行うモードが残されているという話もあります^^;

れるので注意してください。

6.2 埋め込みコメント

コメントファイルは65532byte以内のテキストファイルであれば、どのような記述形態をとっても構わないのですが、汎用性を高めるため次の点に注意して記述しましょう。

- o 一行は64文字以内に

これはほとんどX680x0での都合なのですが、PIC2ファイルを表示するためには64x25画面にモードを変更する必要があるため、80文字単位で記述されたテキストが埋め込んであると文章が読み辛くなります^^;

- o 埋め込み用の長文コメントは避ける

PIC2デコーダの種類によっては、キー入力による一時停止機能を内蔵していない物があります。そのようなデコーダで長文コメントが埋まっているPIC2ファイルを表示させると折角書いたドキュメントの内容が湯水のようにスクロールしていき、読んでもらえる機会が減ってしまいます。

長くなるような場合は、PIC2ファイルとは別にテキスト形式のドキュメントを用意してアーカイブを作成した方が無難です。

6.3 32K色への減色方式

P2ENCは、基本的に24bit RGBファイルを元にしてPIC2ファイルを生成しますが、P2ENC内部で利用している減色方式はRGB各成分のなかの上位5bitを抜き出す単純な物を採用しています。出来るだけ綺麗な画像を得るためには、少し手間が係りますが一度減色ツールを通してからP2ENCを利用するように心がけましょう。

画像によっては単純にbit切り捨てを行った方が画質が良い場合もありますが、生成されたPIC2ファイルの色再現性に不満があるような時は、ここで紹介した方法を使ってみるのも一つの方法です。

7. ツールの権利等について

- o ツールの取り扱い

このツールはフリーソフトウェアです。著作権は私(阿部)にあります。この権利を侵害しない限りコピーは自由に行っていただいてかまいません。その場合このアーカイブに含まれている内容をそのままコピーするようにお願いいたします。なお、圧縮形式は問いません。

またこのツールを利用して発生したいかなる弊害についても、私は保証できませんので各自の責任において利用してください。

- o ネットへの転載

このアーカイブの内容を変更しない限り自由に行っていただいてかまいません。その際、転載先のネット名を一言、事前事後のどちらでもかまいませんので、私まで報告して下さると嬉しいです。なお、バージョンアップ時には転載先へのフォローを必ず行ってください。

- o 雑誌掲載等について

必ず事前に連絡を取ってくださるようお願いいたします。無断掲載はお断りします。

o サポートについて

いまのところFGALAVの11番会議室でのみ直接サポートを行います。なにかありましたらお気軽にどうぞ。

直接オンラインサポート（笑）が必要な方は毎週金曜日の23:00から行われているFGALAVの定例RTか、そのほかの曜日のFGALAGのRTを覗いてみてください。比較的参加していることが多いです（笑）

8. 開発環境

このプログラムは、やなぎさわさんが作成されたPIC2ライブラリにDOS用の改良を加えて作成しました。

また開発に際しては以下のツールを利用させて頂きました。開発に関わられた皆さんに感謝致します。

[X680x0版]

X68000 XC コンパイルライブラリ Ver 1.01 (SHARP/Hudson) + BugFix
Free Header(myu-project)
IOCS/DOS CALL Inline Heder
strlib.a(Free String Liblary)
Micro Emacs Ver 3.10 J1.43
gcc version 1.28 Tool#2(X680x0)
gnulib version 1.50
GNU Make Ver 1.36.1
HAS Ver 3.07
HLK Ver 2.28

[Win32 console版]

VC++ 6.0

阿部 昇 (あべべ)
PDC01570@nifty.ne.jp
abebe@mug.biglobe.ne.jp

目次

1. はじめに	1
2. P2DEC/P2ENCの特徴	1
3. オプション一覧	2
3.1 P2DECオプション	2
3.2 P2ENCオプション	2
4. 使い方	2
4.1 利用の前に	2
4.2 P2DECの使い方	2
4.2.1 通常の使い方	2
4.2.2 DJPプラグインとしての使い方	3
4.3 P2ENCの使い方	4
4.3.1 RGBファイルからのエンコード	4
4.3.2 減色を伴うエンコード	4
4.3.3 関連ツールの所在地	5
5. オプション補足	6
5.1 P2DECオプション	6
5.1.1 PIC2情報表示オプション ... -I	6
5.1.2 イメージフォーマット指定 ... -P	6
5.2 P2ENCオプション	7
5.2.1 カラー選択オプション ... -M	7
5.2.2 2 Pass高圧縮モード指示オプション ... -2	7
5.2.3 非圧縮モード指示オプション ... -A	7
5.2.4 非圧縮モード指示オプション ... -B	8
5.2.5 コメントファイル埋め込み指定オプション ... -C	8
5.2.6 作品番号指定オプション ... -N	8
5.2.7 作品番号固定オプション ... -NH	9
5.2.8 画像タイトル入力指示オプション ... -TI	9
5.2.9 画像タイトル埋め込み抑制オプション ... -TN	9
5.2.10 画像タイトルリスト表示オプション ... -TL	9
5.2.11 セーブ指示オプション ... -S	10
5.2.12 Plugin呼び出し方式変更オプション ... -95	10
6. PIC2ファイル作成に関する補足情報	10
6.1 作成者名	10
6.2 埋め込みコメント	11
6.3 32K色への減色方式	11
7. ツールの権利等について	11
8. 開発環境	13